

令和6年9月～令和7年8月

桜馬場中 学力向上プラン

【令和6年度 研究テーマ】

自律した学習者の育成
～授業と授業外の往還を通して～

長崎市立桜馬場中学校 学校教育目標

「国際社会に生きるよき日本人」

① 学力向上への新たな課題発見（令和6年8月）

◇学力向上に向けた新たな課題の明確化

家庭での学習や学習に向かう姿勢に課題

＜国語・数学・英語＞

▲「書くこと」「根拠を明確にして説明すること」が苦手

＜質問紙調査＞

▲自分で学び方を考え、工夫することができている

… 76.0%（全国比-2.6%）

▲平日1日1時間以上勉強している … 48.8%（全国比-15.5%）

▲ICT機器を勉強のために、平日1日30分以上使用している。

… 33.6%（全国比-2.8%）

② 学校評価アンケートや子供の姿による分析

◇定期的に2回実施

自律した学習者の育成の検証・分析

① 自律した学習者の育成についての検証

→学校評価アンケートにおいて、数値で検証する

② 授業改善について

→内容のまとまり毎に、蓄積した生徒の振り返りを基に検証する

③ やり取り帳、Qubenaの活用について

→定期考査や行事、Qubenaコンクールなどにおいて、子供の取組状況を定期的に検証する

○「資質・能力」を育てるための手立て
他者と対話し、仲間と『協働』する
言動に責任を持ち、社会に『貢献』する
長崎のよさを知り、自ら『発信』する

学校評価を数値目標とする
～『確かな学力』～

○自分に必要な学習を自覚し、粘り強く、意欲的に取り組んでいる

	生徒	教職員
現状	84%	70%
	↓	↓
目標	86%	75%

○自分のスケジュールや健康を自分で管理して、遅刻や欠席をしないで登校している。

	生徒	教職員
現状	85%	57%
	↓	↓
目標	86%	65%

③ 学力向上計画（令和6年8月）

◇学力向上に向けた課題の設定

自律した学習者の育成

1. 自分のスケジュールや健康を自分で管理できる生徒
2. 自分に必要な手立てを自覚し、粘り強く意欲的に取り組む生徒
3. 様々な活動の中で、課題を発見・解決しながら日常生活をよりよいものにしようとする生徒

④ 学力向上への実践（令和6年9月～）

◇目標達成した生徒の姿

自律した学習者の具体的な姿

【自律した学習者の具体的な姿】

- 1年生 自分に必要な学習（やるべきこと）を自覚した姿
- 2年生 自分に必要な学習（やるべきこと）を自覚し、計画を立てて実行することができる姿
- 3年生 自分に必要な学習（やるべきこと）を自覚し、計画を立て、修正しながら実行することができる姿

令和6年度 生徒の実態

（全国学力学習状況調査・県学力調査・市学力調査 結果より）

1年生 市平均との比較

国語（++） 数学（++）

2年生 県平均との比較

国語（++） 数学（++）

3年生 全国平均との比較

国語（++） 数学（-） 英語（++）

＜平均との比較＞

高い（++） やや高い（+）

同等（ ）

やや低い（-） 低い（--）

① 基礎的・基本的な知識・技能は概ね身に付いている

② 「書くこと」「根拠を示して説明すること」などが苦手

③ 無答率は低く、解答しようとする意志・意欲が見られる

④ 計画的に家庭学習に取り組むことや家庭学習時間は課題である

自律した学習者の育成に向けた手立て

① 授業改善

主体的、対話的で深い学びの実現

【具体的な取組】

- ・深い学びを実現した子供の姿の明確化
（何ができるようになったのかの姿を具体化する）
- ・自分の考えを自分の言葉で表現する振り返りの充実
（子供の姿を見取り、授業改善に生かす）

② 授業と授業外をつなぐ

Qubena、やりとり帳の活用の充実

【具体的な取組】

- ・Qubenaの活用についての働き掛け
（子供の頑張りを共有する）
- ・やりとり帳の充実
（スケジュール帳を活用し、計画を立て、実行する力を養う）